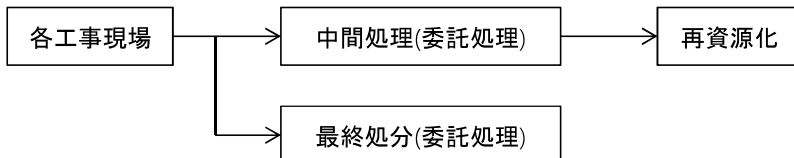


【省令第8条の4の5（1,000トン以上排出事業者用）】

様式第2号の8(第8条の4の5関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和5年 6月 26日	
(宛先) 長野市長 荻原 健司 様	
提出者	
住所 長野市柳町81	
氏名 株式会社 大松建設	
代表取締役 井上 善行	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 026-237-7100	
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 大松建設
事業場の所在地	長野市柳町81
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	元請完成工事高： 644,000,000 円
③従業員数	32名
④産業廃棄物の一連の処理工程	 <pre>graph LR; A[各工事現場] --> B[中間処理(委託処理)]; A --> C[最終処分(委託処理)]; B --> D[再資源化]</pre>

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項												
(管理体制図)												
<table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px;">社 長</td> <td style="padding-left: 20px;">現場統括管理者</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px;">工 務 部</td> <td style="padding-left: 20px;">廃棄物処理方針の策定 廃棄物処理に関する事項の決定・承認</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px;">作業所長</td> <td style="padding-left: 20px;">廃棄物処理計画の作成 委託契約の締結</td> </tr> </table>							社 長	現場統括管理者	工 務 部	廃棄物処理方針の策定 廃棄物処理に関する事項の決定・承認	作業所長	廃棄物処理計画の作成 委託契約の締結
社 長	現場統括管理者											
工 務 部	廃棄物処理方針の策定 廃棄物処理に関する事項の決定・承認											
作業所長	廃棄物処理計画の作成 委託契約の締結											
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項												
①現状	【前年度(令和4年度)実績】											
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスフ)	木くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず					
	排出量	4,223.01t	105.82t	709.50t	87.76t	1.37t	47.00t					
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃石綿								
	排出量	8.80t	0.20t	14.20t								
(これまでに実施した取組)												
<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物分別の徹底を図る。 ・梱包材の簡素化、リサイクル率の向上を行う。 ・産業廃棄物の適正処理に関する、社員の意識を高める。 												
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスフ)	木くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず					
	排出量	1,300.00t	20.00t		5.00t							
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃石綿								
	排出量											
(今後実施する予定の取組)												
<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物分別の徹底を図る。 ・梱包材の簡素化、リサイクル率の向上を行う。 ・産業廃棄物の適正処理に関する、社員の意識を高める。 												
産業廃棄物の分別に関する事項												
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)											
	<ul style="list-style-type: none"> ・現場事務所付近にそれぞれ分別用の掲示物を用意し分別している。 ・パトロールを実施し、分別されているか確認を行っている。 ・産業廃棄物の適正処理に関する、社員の意識を高める。 											
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)											
	<ul style="list-style-type: none"> ・現場事務所付近にそれぞれ分別用の掲示物を用意し分別する。 ・パトロールを実施し、分別されているか確認を行う。 ・産業廃棄物の適正処理に関する、社員の意識を高める。 											

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスフ)	木くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃石綿			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスフ)	木くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃石綿			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスフ)	木くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃石綿			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量							
(これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスフ)	木くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃石綿			
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量							
(今後実施する予定の取組)							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
①現状	【前年度(令和 年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスフ	木くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量							
	産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃石棉				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量							
(これまでに実施した取組)								
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスフ	木くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量							
	産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃石棉				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量							
(今後実施する予定の取組)								
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
①現状	【前年度(令和 年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスフ	木くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	全処理委託量	4,223.01t	105.82t	709.50t	87.76t	1.37t	47.00t	
	優良認定処理業者への処理委託量		2.20t		68.16t			
	再生利用業者への処理委託量	4,223.01t	103.62t	709.50t	19.60t	1.37t	47.00t	
	認定熱回収業者への処理委託量							
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量							
	産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃石棉				
	全処理委託量	8.80t	0.20t	14.20t				
	優良認定処理業者への処理委託量	8.80t		14.20t				
	再生利用業者への処理委託量		0.20t					
	認定熱回収業者への処理委託量							
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量							
	(これまでに実施した取組)							

【目標】		がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ片)	木くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含む)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含む)
②計画	産業廃棄物の種類						
	全処理委託量	1,300.00t	20.00t		5.00t		
	優良認定処理業者への処理委託量				5.00t		
	再生利用業者への処理委託量	1,300.00t	20.00t				
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃石綿			
	全処理委託量						
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量							
(今後実施する予定の取組) ・産業廃棄物を委託できる業者を選定し、適正な委託契約を締結する。 ・マニフェスト伝票の管理を徹底する。							
※事務処理欄							

備 考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類 (実績値・計画値)											合 計	
		がれき類(コンクリがら、廃プラスチック)	木くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、廃ゴム)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	石棉含有産業廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃石綿				
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	4,223.01t	105.82t	709.50t	87.76t	1.37t	47.00t	8.80t	0.20t	14.20t				5,197.66t
	本年度排出量(計画)	1,300.00t	20.00t		5.00t									1,325.00t
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)中間処理に熱回収の量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	4,223.01t	105.82t	709.50t	87.76t	1.37t	47.00t	8.80t	0.20t	14.20t			5,197.66t
		本年度計画(目標)	1,300.00t	20.00t		5.00t								1,325.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績		2.20t		68.16t			8.80t		14.20t			93.36t
		本年度計画(目標)				5.00t								5.00t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	4,223.01t	103.62t	709.50t	19.60t	1.37t	47.00t		0.20t				5,104.30t
		本年度計画(目標)	1,300.00t	20.00t										1,320.00t
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												

【記載方法】

- ・各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績(現状)を、下段に本年度の目標(計画)の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- ・「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。